



校長室だより

学校教育目標「自ら学ぶ子供」

八代市立八代小学校

校長 村嶋 博史

R4,9,20 No,18

人権コーナーに温かいメッセージがいっぱい

八代市立の小中学校では、毎月11日を「人権を見つめる日」と設定し、「みんなの人権を守ることの大切さ」などについて確かめ合っています。

本校では、その一環として、廊下に「心ぽかぽか人権コーナー」を設置し、「友達を大切に作る心（思いやりや協調性など）」を醸成しています。このコーナーには、多くの子供が立ち寄り、友達に対する「ありがとう」や「ごめんね」を伝えるメッセージを書いています。この子供たちは、メッセージを書きながら、友達の大切さを再確認していることと思います。

また、そこに掲示されている「谷川俊太郎昨の詩『ともだち』」からも友達の大切さを感じていることと思います。



子供たちが主体的に学ぶ授業づくり

本校では、学校教育目標でもある「自ら学ぶ子供」の育成に向けて、「子供が主体的に課題解決に向かい、学びを深める授業づくり」（授業改善）に、学校総体で取り組んでいます。

校内研究会で明確にした授業改善のための3つの視点（①子供の問いや思いを引き出す「課題提示」の工夫 ②子供が学びを深める「学び合い」の工夫 ③子供の学びをつなぐ「振り返り」の工夫）をもとに、教員がお互いの授業を見合ったり、関係機関と連携したりして、よりよい授業をつくっています。



教育サポートセンター研究授業

学力向上アドバイザー参観授業

校内研修に係る研究授業

校内研修に係る研究授業

保護者の方々に読み聞かせをしていただきました

9月13日（火）、PTA 主催の「読み聞かせ」がありました。これまでもオンラインでの読み聞かせをしていただいていたのですが、今回は、感染対策を講じた上で、各教室に向向いて読み聞かせをしていただきました。子供たちは、とても楽しそうに目を輝かせながら聞いていました。ご多用の中に、わざわざおいいただき誠にありがとうございました。

